

ミックスジュース

学級通信
鎌沢中
3年生
2018年5月30日
No. 9
部活強化期間に突入



道徳「やさしいぞ～千津子さんの生き方～」



読み物について

交通事故で身体の一部を失った千津子さんは、自分の女優生命が絶たれたと絶望しているとき、尋ねてきた恩師の一言で新たな目標を見いだします。語り部女優という生き方です。「これをやらなきゃ私じゃない。」千津子さんは大きな決心をして、生きる力がみなぎってきます。

進路選択を迫られている中学3年生ですが、今よりも高い目標に向かって努力することが、自分の人生を切り拓く力の源になります。千津子さんの生き方から、自分の生き方をもう一度見つめ直して、将来につなげてもらいたいと思います。



今日の授業で学んだこと、考えたこと（「よよく生きる」という観点で…）

- 千津子さんの人生は、自分がつくった表情（笑顔）ではなくて、心の底から自然に表情（笑顔）が出せる人生。
- 今日の授業で、ただ時間が過ぎていくのを待つだけでなく、じぶんが素でいられるよりよい生き方を探していくのが人生なのだと学びました。そのためにも挑戦をして、固定観念を打ち壊していく強い精神をもっていたいです。千津子さんの生き方はすばらしいと思いました。
- チャレンジすることで、その後に見える景色はちがうと思った。
- 無理に人とちがうように生きる必要はないけれど、千津子さんは障害をかかえていても、人を励ましたり、喜ばせたりできるってことを私に教えてくれた。こんな生き方なら、人生が終わるときに後悔しないだろうなと思った。



先日、町内の「まほらの湯」に行ったら、大学4年生の教え子に会いました。消防士をめざして、採用試験に向けてがんばっていました。ふるさと愛を胸に、自分の夢・目標にむかって一生懸命な若者は輝いていました。いくつになっても大事なものは3C（ChangeするChanceにChallenge）だね。